

令和5年度

中学部2年 年間指導計画

国語
社会
数学
理科
音楽
美術
保健体育
職業・家庭
総合的な学習の時間
特別活動
日常生活の指導
生活単元学習(学年)
生活単元学習(グループ)
作業学習

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	グリーン	
ねらい	(1) 日常生活に必要な身近な言葉を身に付ける。 (2) 人との関わりの中で、自分の思いをもち伝えようとする。 (3) 読み聞かせなどを通して、言葉のよさを味わい、言葉を使おうとする態度を養う。			
担当教員	○浅井瞭 加藤彩花 森大和			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	こくご☆☆☆☆			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	聞こう・ 話そう	45	<p>○読み聞かせ</p> <p>○物語などの映像鑑賞</p> <p>◆読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつ。</p> <p>◆教員と一緒に絵本などを見て。登場するものや動作などを思い浮かべる。</p> <p>◆教員と一緒に絵本などを見て、時間の経過などの大体を捉える。</p> <p>◆絵本などを見て、好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりする。</p> <p>◆教員の読み聞かせに応じ、音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりする。</p> <p>◆身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりする。</p> <p>◆伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表す。</p> <p>□興味をもちやすい内容の絵本を用意する。</p> <p>□画像や映像を手掛かりに物語の内容を思い出せるようにする。</p> <p>□周囲の状況や前後の関係から、生徒が伝えようとしていることを推察し言ってみせるなど、手本を示す。</p> <p>○挨拶、簡単な台詞の表現</p> <p>◆挨拶をしたり、簡単な台詞などを言ったりする中で、言葉や表現に慣れ、身に付けていく。</p> <p>□適切な場面で挨拶の手本を示して模倣を促す。</p> <p>○簡単な指示を聞き、それに応じた行動をとる</p> <p>◆3語から4語で構成する指示や説明を聞き、意図を理解する。</p> <p>◆指示や説明に応じて思考したり判断したりする。</p> <p>□日常生活に身近な内容の指示・説明を取り上げる。</p>	
10 11 12	書こう	26	<p>○文字に興味をもち、書こうとすること</p> <p>◆教員が文字を書く様子をみようとしたり、身の回りにある様々な文字に対して指さしをしたりする。</p> <p>◆教員が文字を書く様子を模倣して、自分なりの書き方で文字に見立てた形を書く。</p> <p>□様々な筆記具に触れ、書くことを十分に楽しめるようにする。</p> <p>○自分の名前や物の名前を文字で表したり、書いたりすること</p> <p>◆具体物や絵、写真などと単語や文字カードとを一致させられる。</p>	

			<p>◆見本となる文字をなぞったり、書けるようになった文字をマスの中に書いたりして表す。</p> <p>□生徒が文字に見立てて書いた形と事物や事柄などとを対応させて、「伝えるために書いている」という経験を積み重ねる。</p>
1 2 3	読もう	27	<p>○絵本などを読む</p> <p>◆絵本などを見ることで、身近にある事物や事柄、生き物などが表現されていることに気付く。</p> <p>◆絵本や写真を指さしたり、意識を向けたりする。</p> <p>◆絵や写真、シンボルマークなどが表す意味を識別する。</p> <p>◆言葉のもつ音やリズム、イメージを感じる。</p> <p>◆登場するものの動作などを思い浮かべる。</p> <p>◆時間の経過などの大体を捉える。</p> <p>◆シンボルマークや標識などの特徴に気付き、意味を考えたり、意味に沿った行動をしたりする。</p> <p>◆好きな場面を伝えたり、言葉などを模倣したりする。</p> <p>□興味をもちやすい内容の絵本を用意する。</p> <p>□登場人物や場面の様子の違いを知る手掛かりとして、「はじめ」「おわり」などの時間の経過を表す言葉を示す。</p> <p>□シンボルマークなどの意味を考えるとときに、生徒が知っている言葉を添えたり、一緒に表している内容の動作をしたりする。</p>
通年	言葉の特徴や使い方に関する学習 言語文化に関する学習		<p>○物の名前や動作を表す言葉</p> <p>○身近なものの名前を表す言葉</p> <p>○体の部位を表す言葉</p> <p>◆身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していると感じる。</p> <p>◆日常生活でよく使われている平仮名を読む。</p> <p>◆身近な人との会話を通して、物の名前や動作など、いろいろな言葉の種類に触れる。</p> <p>□物の名前と具体物や写真、絵などを結び付けて、言葉を想像しやすくする。</p> <p>○昔話などの読み聞かせ</p> <p>◆昔話や童謡の歌詞などの言葉の響きやリズムに親しむ。</p> <p>□映像や音楽を使用し、親しみやすい雰囲気を作る。</p> <p>○物語に関連した手遊びなど</p> <p>◆遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れる。</p> <p>□分かりやすく、親しみやすい物語を用意する。</p> <p>○クレヨンや鉛筆など、いろいろな筆記具で書くこと</p> <p>◆いろいろな筆記具に触れ、書くことを知る。</p> <p>◆筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知る。文字に興味をもち、書こうとする。</p> <p>□書きやすい支援器具等を必要に応じて使用する。</p> <p>○なぞり書きなどの書字学習など</p> <p>◆それぞれ正しい持ち方や姿勢で書く。</p> <p>□様々な筆記具を用意する。</p>

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	ピンク	
ねらい	(1) 日常生活に必要な知識や技能を身に付ける。 (2) 人との関わりの中で、自分の思いや考えを、言葉を用いて伝えようとする。 (3) 読み聞かせなどを通して、言葉のよさを感じ、物事を想像して言葉を使おうとする態度を養う。			
担当教員	○中里麻実子 吉崎智成			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	こくご☆☆☆☆			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	話を聞こう 話をしよう	45	○楽しかった思い出や日々の出来事の簡単なスピーチ ○身近な人の話や放送などの聞きとり ○電話の応答など ◆自分の経験を言葉にして表現する。 ◆聞いたことを書き留めたり、分からなかったことを聞き返したりして、話の大筋を捉える。 ◆聞いたことを理解し、イメージする。 ◆自己紹介や簡単な電話の受け答えができる。 □絵や写真を手掛かりに、経験したことを振り返るようにする。 □感情を表す言葉をいくつか示して、自分の気持ちを選べるようにする。 □話す順番について示し、内容について整理しやすくする。	
10 11 12	文章を書こう	26	○自分の名前や身の回りの物の名前を書くこと ○絵はがきや手紙を書くことなど ◆手本を見て文字を書く。 ◆挨拶状や季節に応じた表現があることを知り、書こうとする。 ◆書く姿勢や筆記具の持ち方、字の形などに気を付ける。 ◆点画相互の接し方や交わり方などに気を付けて書く。 ◆文の構成、語句の使い方に気を付けて書く。 □写真や絵を示して、身の回りの物の名前を想像しやすくする。 □手紙や原稿用紙などのマスや行の大きさの種類を複数用意する。 □内容のまとまりごとに、伝えたい事柄の「始め－中－終わり」などの構成を示して書きやすくする。	
1 2 3	話を読もう	27	○文字や文章の音読 ○教科書や絵本などの音読 ◆自分や身近な人が書いたものを読む。 ◆発音や適切な声の大きさに気を付けて話す。 ◆文章の内容を理解し、イメージしながら読む。 □挿絵を手掛かりにして、内容を想像しやすくする。 □自分の経験と結び付けて、内容を理解しやすくする。	
通 年	語彙学習		○平仮名、片仮名、身近な漢字などの読み書き ○話し言葉や物語、子ども新聞などの短文読解など ◆意味による語句のまとまりを知る。 ◆話し方や書き方で意味が異なる語句に気付く。	

			<ul style="list-style-type: none">◆長音や拗音、助詞の正しい読み方や書き方を知る。◆主語と述語の関係を理解する。◆接続詞の役割を理解する。◆物語の情景や場面の様子や、登場人物の心情を読み取る。 <p><input type="checkbox"/>文字や言葉について、興味・関心や生活、使う場面に即して使用する語句の量や範囲を広げるようにする。</p>	
--	--	--	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	国語	グループ名	レッド	
ねらい	(1) 日常生活に必要な知識や技能を身に付ける。 (2) 人との関わりの中で、自分の思いや考えを、言葉を用いて伝えようとする。 (3) 読み聞かせなどを通して、言葉のよさを感じ、物事を想像して言葉を使おうとする態度を養う。			
担当教員	○宗重貞子			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	こくご☆☆☆☆			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	話を聞こう 話をしよう 説明しよう	45	○印象的な出来事や日々の出来事の簡単なスピーチと聞き取り ○一つの語彙についての説明 ◆自分の経験や思いを言葉にして表現する。 ◆聞いたことを書き留めて、話の大筋を捉える。 ◆要点を幾つかしぼって説明する。 □絵や写真を手掛かりに、経験したことを振り返るようにする。 □メモをとりながら、聞き取るようにする。 □取り扱い説明書や料理のレシピ等を参考に書くようにする。	
10 11 12	文章を書こう	26	○季節や自分の状況に応じた俳句や詩などの短文を書く。 ○絵はがきや手紙を書く。 ◆季語や文章のルールを意識して書く。 ◆文の構成、語句の使い方に気を付けて書く。 □写真や絵を示して、身の回りの物の名前を想像しやすくする。 □葉書や手紙など書式の異なる用紙を複数用意する。 □内容のまとまりごとに、伝えたい事柄の「始め－中－終わり」などの構成を示して書きやすくする。	
1 2 3	話を読もう	27	○発声練習となるような文章の音読 ○物語や新聞などの音読 ◆発音や適切な声の大きさに気を付けて話す。 ◆文章の内容を理解し、イメージしながら読む。 □挿絵を手掛かりにして、内容を想像しやすくする。 □自分の経験と結び付けて、内容を理解しやすくする。	
通 年	語彙学習		○生活場面で使用する身近な漢字などの読み書き ○子ども新聞や自作の絵本などの創作 ○ローマ字や簡単な英語の単語の使用 ◆意味による語句のまとまりを知る。 ◆話し方や書き方で意味が異なる語句に気付く。 ◆長音や拗音、助詞の正しい読み方や書き方を知る。 ◆主語と述語の関係を理解する。 ◆接続詞の役割を理解する。 ◆物語の情景や場面の様子や、登場人物の心情を読み取る。 □文字や言葉について、興味・関心や生活、使う場面に即して使用する語句の量や範囲を広げるようにする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	第2学年
教科等名	社会科		グループ名	A
ねらい	(1) 集団生活の中での役割を果たすための初歩的な知識や技能を身に付ける。 (2) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かる。 (3) 身近な公共施設や公共物の役割を理解し、身近な大人と一緒に利用することができる。			
担当教員	○森大和 宗重貞子			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	にっぽんちず絵本			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	社会参加 と決まり	3	○中学部2年のルールを知ろう ◆中学部2年生として、どのように生活するかを知る。 □パワーポイントを使視覚的に理解しやすくする。 □ワークシートに必要な決まりをまとめる。 ○交通安全のルールを知ろう ◆道路を歩行する際のルールの理解を深め、実際に歩けるようにする。 □実際の標識等を作り、模擬歩行体験をする。	
6 7	公共施設 と制度	3	○身近な公共施設を調べよう ◆校外学習で行く場所の公共施設の理解を深める。 □見学場所のデータを写真や映像で提示し理解しやすくする。 □見学場所で見たい施設体験したい施設を発表させる。	
9 10 11	産業と生 活	4	○いろいろな仕事 ◆自分の住んでいる近くのお店のことへの理解を深める。 □画像や映像等を使って目で見て分かりやすくする。 □身近にどのようなお店があるかまとめ、発表させる。	
12	社会参加 と決まり	3	○販売について学ぶ ◆実際のお店等の活動から販売の仕組みを理解させる。 □お店屋さんごっこの形で販売を体験してみる。	
1 2 3	公共施設 と制度	5	○移動教室に行こう ◆移動教室で利用する公共施設や公共物を知り、活動に見通しが持てるようにする。 □移動教室で利用する施設の映像や画像等を使い理解しやすくする。 □移動教室で見たい場所行きたい場所をまとめて発表させる。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	社会科	グループ名	B	
ねらい	(1) 集団生活の中での役割を果たすための初歩的な知識や技能を身に付ける。 (2) 家庭や学校でのきまりを知り、生活の中でそれを守ることの大切さが分かる。 (3) 身近な公共施設や公共物の役割を理解し、身近な大人と一緒に利用することができる。			
担当教員	○森大和 宗重貞子			
年間授業時数	18 単位時間			
使用教科書	にっぽんちず絵本			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	社会参加 と決まり	3	○中学部2年のルールを知ろう ◆中学部2年生として、どのように生活するかを知る。 □パワーポイントを使視覚的に理解しやすくする。 ○交通安全のルールを知ろう ◆道路を歩行する際のルールの理解を深める。 □実際の標識等を作り、模擬歩行体験をする。	
6 7	公共施設 と制度	3	○身近な公共施設を調べよう ◆校外学習で行く場所の公共施設の理解を深める。 □見学場所のデータを写真や映像で提示し理解しやすくする。	
9 10 11	産業と生 活	4	○いろいろな仕事 ◆自分の住んでいる近くのお店のことへの理解を深める。 □画像や映像等を使って目で見て分かりやすくする。	
12	社会参加 と決まり	3	○販売について学ぶ ◆実際のお店等の活動から販売の仕組みを理解させる。 □お店屋さんごっこの形で販売を体験してみる。	
1 2 3	公共施設 と制度	5	○移動教室に行こう ◆移動教室で利用する公共施設や公共物を知り、活動に見通しを持てるようにする。 □移動教室で利用する施設の映像や画像等を使い理解しやすくする。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	数学	グループ名	グリーン	
ねらい	(1) 身の回りのものの色・形・大小・多少・長短に気づき、具体物を使って操作することができる。 (2) 身の回りのものの数を表現したり、形の違いを捉えたりする力を養う。 (3) 数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。			
担当教員	○森大和 浅井瞭 加藤彩花			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③(6～9までのたし算、ひき算、位取り)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	身近な色や形を知ろう	1 9	<p><数学的活動> ○2～3色の中から色の弁別を行う ◆色の違いに気づき、見分ける力を養う。 □色以外の要素を全て統一して、色の違いに注目させる。</p> <p><図形> ○異なる2つの形の中から、見本と同じ形を選び、形の違いを意識する ◆丸や三角など形の違いに気づくことができる。 □見本の形と重ねたり、見比べたりして、異同に注目させる。</p>	
6 7	物の大きさの違いを知ろう	1 9	<p><数量の基礎> ○大きさの違う型はめなどを用いて、決められた位置に当てはめる ◆物の大小を意識してその違いに気付くことができる。 □生活で使用する身近な物を用いて関心を高める。</p>	
9	長い物と短い物	1 7	<p><測定> ○具体物の長さを比べ、どちらかを選択する ◆長さの測定に関する意識をもつ。 □長さを比べる際は、端をそろえることに注目させる。</p>	
10 11 12	数えよう	2 5	<p><数量の基礎> ○ゲームなど数に関する活動の中で、教師と一緒に数唱を行う ◆具体的な活動を通して数への関心や理解を深める。 □生活で使用する身近な物を用いて関心を高める。</p>	
1 2 3	集めよう	1 8	<p><数と計算> ○具体物を操作して10の集まりを作る ◆活動を通して、数のまとまりを意識する。 □10のまとまりケースを使用する。</p>	
通年	計算		<p><数と計算> ○数唱、一対一対応、分類、計数、大小比較 など ◆基本的な計算方法を身に付ける。 □生活で使用する身近な物を用いて関心を高める。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	数学	グループ名	ピンク	
ねらい	(1) 身の回りの基礎的な数の概念について理解すると共に、上下・前後・左右などの違いが分かるようにするための技能を身に付ける。 (2) 身の回りの数や形・量を比べる方法が分かり、簡潔に表現する力を養う。 (3) 数量や図形に関心をもち、学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。			
担当教員	○吉崎智成 中里麻実子			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③(6～9までのたし算、ひき算、位取り)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	身近な色や形を知ろう	17	<図形> ○三角形、長方形、正方形、円等がわかる ◆図形の特徴を理解する。 ◆生活の中にある形に気付く。 □形を使って図を構成したりして理解を促す。	
6 7	物の大きさの違いを知ろう	17	<大きいと小さい> ○具体物の大きさを比べ、どちらかを選択する。 ◆具体物同士を使用して測定する。 □大小が分かりやすい具体物を使用する。	
9	長い物と短い物	10	<長短> ○具体物の長さを比べ、どちらかを選択する。 ◆長さの測定に関する意識をもつ。 □長短が分かりやすい具体物を使用する。	
10 11 12	数えよう	28	<数と計算> ○ボールゲーム等を行いながら、点数を計算する。 ◆具体物を加えたり減らしたりしながら、10を作り、10の概念を知る。 □生徒が興味をもって取り組みやすいゲームを設定し、数えることへの意欲につなげる。	
1 2 3	まとめよう	26	<データの活用> ○数遊びなどの活動を通して棒グラフを作り、操作して10の集まりを作る。 ◆活動を通して、数のまとまりを意識する。 □操作しやすい具体物を使用する。	
通年	計算		<数と計算> ○数唱、一対一対応、分類、計数、大小比較、など ◆基本的な計算方法を身に付ける。 □実態に応じて段階的に課題を設定する。 ○お金、時計(時・分) ◆日常の中でお金や時刻と生活を結びつける。 □生活で使用する身近な物を用いて関心を高める	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	数学	グループ名	レッド	
ねらい	(1) 数の概念や図形についての感覚を豊かにし、それらを活用することについて技能を身に付ける。 (2) 身の回りの事象の数や形・量に着目し、単位を用いて的確に表現する力を養う。 (3) 数学で学んだことよき気付き、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
担当教員	○宗重貞子			
年間授業時数	98 単位時間			
使用教科書	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③(6～9までのたし算、ひき算、位取り)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	大きな数を知ろう	17	<整数の表し方> ○1000までの数を理解する ◆正確に数を読み取れる。 ◆10のまとまり、100のまとまりを理解する。 □数直線や貨幣を用いて理解を促す。	
6 7	いろいろな形を知ろう	17	<図形> ○三角形、長方形、正方形、円等がわかる ◆図形の特徴を理解する。 ◆生活の中にある形に気付く。 □作図したり、形を使って図を構成したりして理解を促す。	
9	測ってみよう	10	<量の単位と測定> ○長さ、重さ、かさの単位について理解する ◆定規やはかりを使って量が読み取れる。 ◆生活の中にある量に気付く。 □日常生活用品を定規やはかりで測る活動を取り入れる。	
10 11 12	時間について知ろう	28	<時刻と時間> ○時刻を読み取る ○時間の測定をする ◆時、分、秒の単位まで読むことができる。 ◆時間を量として捉える体験をする。 □アナログ・デジタルを併用しながら理解を促す。	
1 2 3	データを使おう	26	<データの活用> ○表やグラフが読み取れる ◆身の回りのことを表やグラフから読み取る。 □日常生活で用いるグラフを必要に応じて使用する。	
通年	計算		<数と計算> ○加法、減法、乗法、除法 ◆基本的な計算ができる。 □具体物の使用から文章問題までを段階的に指導する。 ○お金、時計 ◆簡単な買い物の計算ができる。 ◆正確に時刻を読み取ることができる。 □日常生活をモチーフとした題材設定する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	理科	グループ名	A (鳥)	
ねらい	(1) 自身の回りの事物・現象の基礎的な理解を図り、観察・実験に関する初歩的な技能を身に付ける。 (2) 観察や実験を通して、疑問をもつ力や予想や仮説を立てる力を養う。 (3) 学んだことを他教科の学習や日常生活などに生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○宗重貞子 森大和			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	みるずかん・かんじるずかん たねのずかん			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	雨水の行方と 地面の様子	3	○雨水の行方を調べよう ◆水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを知る。 □雨水の行方が分かりやすい資料を活用する。 ○雨水が地面にしみ込む様子を観察しよう ◆雨水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを知る。 □日常生活で、水をしみ込ませる活動について想起できるよう指導を展開する。	
6 7 9	物と重さ 身の回りの生物	3 3	○物の重さを比べよう ◆物は形が変わっても重さは変わらないことを知る。 □粘土やプラスチックなどの具体物を使用して、実際に重さを比較し体感できるようにする。 ○身の回りにはいる昆虫や植物を調べよう ◆身の回りの昆虫や植物について知る。 □昆虫や植物の画像を活用して、身の回りにはいる生物を明示する。 ○身の回りにはいる昆虫や植物を観察する ◆身の回りの昆虫や植物の観察などを通して、特徴をまとめる。 □校庭を散策して、身の回りの生物を観察できる機会を設定する。	
10 11 12	風やゴムの力 の働き	5	○風の力で物を動かそう ◆風の力は、物を動かすことができることを知る。 ◆風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを知る。 □実験や動画を通して、風の力によって物が動く様子を体験させる。 ○ゴムの力で物を動かそう ◆ゴムの力は、物を動かすことができることを知る。 ◆ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを知る。 □実験や動画を通して、ゴムの力が身の回りの物の中で実用されていることを気付かせる。	
1 2 3	身の回りの生物	3	○生物の姿の違いを見つけよう ◆生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを知る。 □生物の成長やその過程が分かりやすい資料を活用する。	

			<p>○観察したことや調べたことをお互いに発表し合う</p> <p>◆友達と協力して発表する力を身に付ける。</p> <p>□日常生活や社会生活に生かせるよう、調べたことや分かったことをまとめたり、発表したりすることの役割を明確にする。</p>	
通年	観察・実験 構造の理解	通年	<p>○自然・人工物の観察学習</p> <p>◆対象の状態を記録し、変化に気付く。</p> <p>□変化の推移を動画等で確認したり、記録できるワークシートを活用したりする。</p> <p>○科学・物理に関する実験学習</p> <p>◆実験における仮説を立てて、実験を行う。</p> <p>□学習内容に合わせて簡単に組み立てる実験を取り入れる。</p> <p>○有機物・無機物の構造の理解</p> <p>◆身の回りのものがどのように出来ているかを知る。</p> <p>□具体物を活用して実際に見たり触れたりして確認する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	理科	グループ名	B (風)	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、疑問をもつ力と予想や仮説を立てる力を養う。 (3) 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に日常生活や社会生活などに生かそうとする態度を養う。			
担当教員	○宗重貞子 森大和			
年間授業時数	17 単位時間			
使用教科書	みるずかん・かんじるずかん たねのずかん			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	雨水の行方と 地面の様子	3	○雨水の行方を調べよう ◆水は高い場所から低い場所へと流れて集まることを知る。 □雨水の行方が分かりやすい資料を活用する。 ○雨水が地面にしみ込む様子を観察しよう。 ◆水のしみ込み方は、土の粒の大きさによって違いがあることを知る。 □水がしみ込む様子が分かる実験の中で、結果を予想したり仮説を立てたりする取組を行う。	
6 7 9	物と重さ 身の回りの生物	3 3	○物の重さを比べよう ◆物は形が変わっても重さは変わらないことを知る。 □粘土やプラスチックなどの具体物を使用して、実際に重さを予想したり、比較したりする取組を行う。 ○身の回りにいる昆虫や植物を調べよう ◆身の回りの昆虫や植物について知る。 □昆虫や植物の画像を活用して、身の回りにいる生物を明示する。 ○身の回りにいる昆虫や植物を観察する ◆身の回りの昆虫や植物の観察などを通して、特徴をまとめる。 □校庭を散策して、身の回りの生物を観察できる機会を設定する。	
10 11 12	風やゴムの力 の働き	5	○風の力で物を動かそう ◆風の力は、物を動かすことができることを知る。 ◆風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを知る。 □実験や動画を通して、風力が生活の中で効果的に活用されていることを関連させる。 ○ゴムの力で物を動かそう ◆ゴムの力は、物を動かすことができることを知る。 ◆ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを知る。 □実験や動画を通して、ゴムの力が身の回りの物の中で実用されていることを関連させる。	
1 2	身の回りの生物	3	○生物の姿の違いを見つけよう ◆生物は、色、形、大きさなど、姿に違いがあることを知る。	

3			<input type="checkbox"/> 生物の成長やその過程が分かりやすい資料を活用する。 <input type="checkbox"/> 観察したことや調べたことをお互いに発表し合う <input checked="" type="checkbox"/> 友達と協力して発表する力を身に付ける。 <input type="checkbox"/> 日常生活や社会生活に生かせるよう、調べたことや分かったことをまとめたり、発表したりすることの役割を明確にする。	
通 年	観 察 ・ 実 験 構 造 の 理 解	通 年	<input type="checkbox"/> 自然・人工物の観察学習 <input checked="" type="checkbox"/> 対象の状態を記録し、変化に気付く。 <input type="checkbox"/> 変化の推移を動画等で確認したり、記録できるワークシートを活用したりする。 <input type="checkbox"/> 科学・物理に関する実験学習 <input checked="" type="checkbox"/> 実験における仮説を立てて、実験を行う。 <input type="checkbox"/> 学習内容に合わせて簡単に取り組める実験を取り入れる。 <input type="checkbox"/> 有機物・無機物の構造の理解 <input checked="" type="checkbox"/> 身の回りのものがどのように出来ているかを知る。 <input type="checkbox"/> 具体物を活用して実際に見たり触れたりして確認する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	音楽	グループ名	学年	
ねらい	(1) 音楽表現に必要な歌唱、器楽、音楽作り、身体表現の技能を身に付ける。 (2) 曲や演奏のよさを見いだしながら、音楽を味わって聴くことができる。 (3) 音楽活動する楽しさや経験を活かし、生活を潤いあるものにする。			
担当教員	○土田雅子 藤田大輔			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	おんがく☆☆☆			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	音楽のもつ楽しさを感じて表現しよう	8	○歌唱「校歌」「星の世界」など ○器楽 楽器の使い方など ○身体表現「ガランピーダンス」など ○鑑賞「世界の音楽」 ◆歌詞を覚えて、歌う。 見本に合わせて、楽器を演奏し、体を動かす。 オリジナルリズムを作って打つ。 演奏者や映像に注目して、静かに鑑賞する。 □親しみやすく易しい曲を用いる。 □リズムをシンプルな記号で提示する。	楽曲は変更になることがあります。
6 7 9	ハーモニーやリズムを感じて表現しよう	20	○歌唱「夏の日の贈り物」「校歌」など ○器楽「星の世界」など ○音楽づくり リズム遊び ○鑑賞クラシック音楽よりCD、DVD鑑賞 ◆季節感を感じて歌う。 見本に合わせて、楽器を演奏する。 見本に合わせて、友達と一緒に身体を動かす。 演奏者や映像に注目して、静かに鑑賞する。 □親しみやすく易しい曲を用いる。 □歌唱が難しい生徒は手話や楽器を用いる。	
10 11	文化祭に向けて準備をしよう	21	○歌唱「文化祭の曲」「世界の音楽」など ○器楽「文化祭の曲」など ○身体表現 文化祭に向けて「世界の芸能」 ◆旋律に合わせて、歌う。 友達と一緒に協力して合奏する。 曲の雰囲気に合わせて、身体を動かす。 演奏者や映像に注目して、静かに鑑賞する。 □色をつけた楽譜や鍵盤を用いる。 □合奏の編成を生徒の興味や特性に応じたものにする。	
12 1	日本の伝統音楽を楽しもう	9	○歌唱「ビリーブ」 ○歌唱共通教材：「ふるさと」など ○器楽「和太鼓」など ○身体表現「花笠音頭」など ○鑑賞「和太鼓の演奏」など ◆曲想を意識して、歌う。 日本の音楽の曲想を意識して、楽器を演奏する。	

			<p>曲の雰囲気を感じて、身体を動かす。 演奏者や映像に注目して、静かに鑑賞する。</p> <p><input type="checkbox"/>扱いやすく、親しみやすい楽器を用いる。 <input type="checkbox"/>リズムをシンプルな記号で提示する。</p>	
2 3	卒業式を意識しよう 1年間を振り返ろう	12	<p>○歌唱「卒業式の歌」「校歌」「国歌」など ○器楽 小太鼓など ○身体表現「花笠音頭」など ○鑑賞「卒業に関する歌」</p> <p>◆曲想を意識し、歌詞を覚え歌う。 曲想を意識し、暗譜して楽器を演奏する。 曲想に合わせて、友達と一緒に身体を動かす。 演奏者や映像に注目して、静かに鑑賞する。</p> <p><input type="checkbox"/>歌唱が難しい生徒は手話や楽器を用いる。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	美術	グループ名	B	
ねらい	(1)様々な素材や色に触れ、描く、作る表現活動に親しむ。 (2)切ったり、貼ったり、飾ったりする活動を通して、形の変化を楽しむ。 (3)身近な道具に親しみ、正しい扱い方を知る。			
担当教員	○守山大介 吉本忍 土田雅子 多久真也 中丸昌和 吉崎智成 宗重貞子 森大和 浅井瞭 中里麻実子 藤田大輔 加藤彩花			
年間授業時数	70 単位時間			
使用教科書	わたしだけのはらぺこあおむし むりえ絵本 (偕成社)			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7	平面表現	28	○自由画 ◆様々な技法を習得し、美術の楽しさを感じる。 □取り組みやすい技法に繰り返し取り組み、楽しみながら制作活動に取り組めるようにする。 ○ポスター制作 ◆手順を理解して、見通しをもちながら制作する。 ◆目的に適した絵やイラストを描く。 □手順を分かりやすく伝え、参考作品を提示する。	
9 10 11	平面表現	8	○版画 ◆版画の面白さを感じて、制作活動に取り組む。 □道具の置き場所を工夫することで、手順が分かりやすいようにする。繰り返し制作し、版画の楽しさに気がつくようにする。 ○舞台大道具、背景、衣装などを作る。 ◆道具を安全に扱い、目的に合わせて使う。 ◆羽ばたき祭に向けて、イメージをもって取り組む。 □イメージが膨らむように、映像を使用して作成するものを伝える	
12	立体表現	20	○オーナメント制作 ◆季節に合わせた飾りを作る楽しさを感じる。 □落ち葉等の自然素材を利用することで、制作の幅を広げる。	
1 2 3	平面表現 立体作品	14	○自由画 ◆様々な画材の扱い方の技術の向上させ、制作活動の楽しさを感じる。 □取り組みやすい道具を使用し、楽しみながら制作活動に取り組めるようにする。 ○厚紙、粘土等を使用した造形作品作り ◆様々な技法に親しみ、美術の幅を広げる。 □落ち葉等の自然素材を利用することで、制作の幅を広げる	
通年	鑑賞		○鑑賞 ◆自分や友達の商品・日本や世界の美術作品に興味をもつ □毎時間、鑑賞の時間を設定する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年
教科等名	保健体育	グループ名	②
ねらい	(1) 運動の楽しさや喜びを味わい、各種の運動の基本的な動きや技能を身に付けるとともにけがの防止について理解できるようにする。 (2) 各種の運動や健康な生活におけるグループの課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりすることができる。 (3) 各種の運動に積極的に取り組み、きまりや簡単なルールを守り、場や用具の安全に留意しながら、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。		
担当教員	○多久真矢 吉本忍 土田雅子 中丸昌和 吉崎智成 守山大介 宗重貞子 森大和 浅井瞭 中里麻実子 藤田大輔 加藤彩花		
年間授業時数	142 位時間		
使用教科書	子供の生活⑥ じょうぶなからだになれるよ！		
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫 備考
4 5 6 7	体づくり運動	26	○集団行動 ◆リズムにのって体を動かす運動に取り組む。 ◆仲間と一緒に運動する力を養う。 □実態に応じて言葉かけや視覚支援を行う。 ○ラジオ体操 ◆ラジオ体操を身に付ける。 □教員が見本として前で体操する。
4 5	陸上競技「短距離走」	8	○50m走、100m走 ◆決められた距離をゴールまで活動できるようになる。 □スタート地点やゴールがわかるようコーンなどを置いて視覚支援を行う。
	ダンス	13	○現代的なリズムのダンス ○日本の民謡 ◆リズムに合わせて体を動かす。 □教員が見本として前で踊る。次の振りを言葉で伝える。
6	新体力テスト	4	○新体力テスト8種 ◆いろいろな運動を経験する。 □正しい測定方法を図や見本で示す。
7	水泳	9	○水慣れ、アクアビクス、泳法練習 ◆水中運動に慣れる。 ◆アクアビクスや水中運動を通して、水の中での動きの基礎を身に付ける。 ◆ルールを守って、安全に活動できるようになる。 □生徒が安心して水泳に取り組めるように生徒の実態や障害特性に合わせて、指導・指導を行う。
9 10 11 12	体づくり運動	26	○体ほぐしの運動 ◆ストレッチなどの心をリラックスさせる運動に取り組む。 □教員が見本として前で見本を示す。 ○ラジオ体操 ◆ラジオ体操を身に付ける。 □教員が見本として前で体操する。

9	水泳	2	<p>○水慣れ、アクアビクス、泳法練習</p> <p>◆水中運動に慣れる。</p> <p>◆アクアビクスや水中運動を通して、水の中での動きの基礎を身に付ける。</p> <p>◆ルールを守って、安全に活動できるようになる。</p> <p>□生徒が安心して水泳に取り組めるように生徒の実態や障害特性に合わせて、支援・指導を行う</p>
10	器械運動	9	<p>○マット運動</p> <p>◆様々な体の動かし方を体験、経験する</p> <p>□実態や段階に合わせた、グループに分け、活動する。</p> <p>○跳び箱、台上歩行、腕立て横飛び越し</p> <p>◆体の動かし方やバランス感覚を養う。</p> <p>□実態や段階に合わせた、グループに分け、活動する。</p>
11	球技 「サッカー」	8	<p>○ドリブル、パス、シュート</p> <p>◆ボールを意識してパスやシュートをすることができる。</p> <p>□教員が見本として生徒の前で行う。</p> <p>○ゲーム</p> <p>◆簡易ルールでゲームに参加する。</p> <p>□並ぶ場所やシュートを打つ位置が分かりやすいように目印を置く。</p>
12	球技 「ボッチャ」	4	<p>○「学校2020レガシー」について知識を深める</p> <p>◆「学校2020レガシー」について学習する。</p> <p>□スライドやイラストを使用する。</p> <p>○パラリンピック競技のボッチャに親しむ</p> <p>◆目標物に向かって運動する力を養う。</p> <p>□目標物が分かりやすいように視覚支援を行う。</p>
1 2 3	体づくり運動	21	<p>○体ほぐしの運動</p> <p>◆ストレッチなどの心をリラックスさせる運動に取り組む。</p> <p>□教員が見本として前で見本を示す。</p> <p>○ラジオ体操</p> <p>◆ラジオ体操を身に付ける。</p> <p>□教員が見本として前で体操する。</p>
1 2	球技 「ボッチャ」	2	<p>○「学校2020レガシー」について知識を深める</p> <p>◆「学校2020レガシー」について学習する。</p> <p>□スライドやイラストを使用する。</p> <p>○パラリンピック競技のボッチャに親しむ</p> <p>◆目標物に向かって運動する力を養う。</p> <p>□目標物が分かりやすいように視覚支援を行う。</p>
	陸上競技 「長距離走」	5	<p>○長距離走</p> <p>◆継続して運動する力を養う。</p> <p>◆体力を向上させ、健康の保持増進を図る。</p> <p>□周回数が分かりやすいよう、実態合わせた自助具を使う。</p>
	保健 「健康と体」	2	<p>○栄養、けがの応急処置について</p> <p>◆偏食をしないで何でも食べる意識をもつ。</p> <p>◆けがの処置の仕方や予防の方法を知る。</p> <p>□動画等を活用し、わかりやすく説明する。</p>

3	ダンス	4	○現代的なリズムのダンス ◆リズムに合わせて体を動かす。 □実態に応じて、言葉かけや視覚支援を行う。	
---	-----	---	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部		学 年	第2学年
教科等名	職業・家庭		グループ名	B
ねらい	(1) 家庭生活における自己の役割に気付くと共に、自立に向けて必要な衣食住に関わる基礎的な知識、技能を身に付ける。 (2) 家庭生活に必要な事項の課題について解決策を考え、実践力を身に付ける。 (3) よりよい家庭生活や社会生活の実現に向け、家族や地域の人々と関わり、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。			
担当教員	○藤田大輔 ○吉本忍 土田雅子 多久真也 中丸昌和 吉崎智成 守山大介 宗重貞子 森大和 浅井瞭 中里麻実子 加藤彩花			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	たのしい職業科 わたしたちの夢につながる			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	オリエンテーション	1	○年間の職業・家庭の学習について ◆1年間の学習内容について知る。 ◆活動内容を知り、期待感をもつことができる。 □ICT機器を用いて提示する。	
5	清掃をしよう	2	○清掃の道具や方法について ◆清掃道具の名称、使い方を知り、清掃の方法について実習する。 □ICT機器を用いて提示する。	
6	身だしなみを整えよう	3	○日常の身だしなみについて ◆進級に向けて、正しい身だしなみについて知る。 □ICT機器を用いて提示する。	
7	仕事について知ろう	5	○日野自動車工場の見学 ◆望ましい生活習慣を身に付ける。 ◆家族の職業に関心をもつ。まわりの人がどんな仕事をしているのか知ろうとする。 ◆職場では多くの人が仕事を分担し協力していることを知る。 ◆見てきたことや感じたことをまとめ、工夫して伝える。 □個々の実態に沿った手順表を作成、提示する。	
9 10 11	小物づくりをしよう	13	○裁縫道具の名称と使い方 ◆裁縫道具の名称と使い方を理解する。 □実物を提示する。 ○道具を使用し、針に糸を通す。 ◆針に糸を通す方法を知る。 □補助具を使用する。 ○基礎縫い。 ◆玉結び・玉止め・並縫いの方法を知る。 □手順表を作成、提示する。 ○アイロンやミシンを使用し布を使用し小物づくりをする ◆自ら取り組める材料を使用し、作品制作の達成感を味わう。 □手順表を作成、提示する。	

12	栄養素について知ろう	2	<p>○5大栄養素について</p> <p>◆給食のメニューをもとにバランスの良い食事を理解する。</p> <p>□ICT 機器を用いて提示する。</p>	
1	肉野菜炒めづくりをしよう	4	<p>○食材の名称や扱い方</p> <p>◆食材の名称や扱い方について知る。</p> <p>□実物を提示する。</p> <p>○野菜の下処理（洗う、むく、切る）をして、肉野菜炒めを作る。</p> <p>◆野菜の下処理の方法や調理の手順を理解する。</p> <p>□個々の実態に沿った手順表を作成、提示する。</p>	
2 3	焼きそばづくりをしよう	4	<p>○食材の名称や扱い方</p> <p>◆食材の名称や扱い方について知る。</p> <p>□実物を提示する。</p> <p>○野菜の下処理（洗う、むく、切る）をして、焼きそばを作る</p> <p>◆野菜の下処理の方法や調理の手順を理解する。</p> <p>□個々の実態に沿った手順表を作成、提示する。</p>	
3	1年間のまとめ	1	<p>○1年間の学習について</p> <p>◆1年間の学習内容について振り返る。</p> <p>□ICT 機器を用いて提示する。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	総合的な学習の時間	グループ名	学年	
ねらい	(1) 活動を通して、友達や教員との関わりを意識し、自ら行動する力を培う。 (2) 世界の伝統文化や羽村特別支援学校の歴史に触れる。 (3) 自らの知識や技能を働かせながら、よりよく課題を解決する力を培う。			
担当教員	○宗重貞子 吉本忍 土田雅子 多久真也 中丸昌和 吉崎智成 守山大介 森大和 浅井瞭 中里麻実子 藤田大輔 加藤彩花			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	新入生歓迎会を成功させよう	2	○1年生を歓迎しよう（歓迎会の準備・出し物練習） ◆歓迎会の出し物練習の中で新入生を迎える意識を持たせる。 □昨年度取り組んだ踊りの手本を見て動きを確認する。	
5 6 7	世界の伝統文化にふれよう	8	○映像などで、世界の伝統文化について鑑賞する。 ◆世界の伝統文化について興味関心をもつ。 ◆踊りを表現することで、世界の伝統文化の理解を深める。 ◆友達と協力して、小道具を作る。 □踊りの動きを少しずつ順番に覚えられるようにする。	
9 10 11	羽村特別支援学校の歴史を知ろう	11	○学校の変化を写真や過去を知る人から学ぶ ◆学校の歴史に触れ、50周年を祝う気持ちをもつ。 □過去の学校行事や建物、松の木のエピソードなど生徒が関心をもちやすい内容を取り上げる。	
12	交流活動しよう	5	○羽村二中と交流しよう ◆交流を通して羽村二中との親睦を深める。 □発表する内容の取り組みを通して交流への意識を高める。	
1 2	よさこい鳴子踊りを踊ろう	6	○よさこい鳴子踊りを覚えて踊ろう ◆メロディと振付を覚えて踊れるようにする。 □踊りの動きを少しずつ順番に覚えられるようにする。	
3	3年生を送る会を成功させよう	3	○3年生を送る会の取り組み（会場準備、メッセージカード作成、出し物練習・発表） ◆取り組みを通して3年生を送る意識を高める。 □写真や手順カードを手がかりに活動内容を理解させる。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	特別活動	グループ名	学級	
ねらい	(1) 心身の調和のとれた個性の伸張を図る。 (2) 望ましい人間関係を形成し、集団への連帯感を深める。 (3) 健全な生活態度を身に付ける。 (4) 学校の中での役割を意識し、社会の一員としての自覚をもつ。			
担当教員	学級担任			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	2年生になって新学期を迎えて	4	○自己紹介 ○個人目標とクラス目標決め ○係活動決め ◆新しい学部や学級、生活リズムに慣れ、集団の一員としての意識をもつ。 □パワーポイントを使視覚的に理解しやすくする。	
5 6	役割分担して取り組もう	6	○物づくり ◆学級集団の中で役割を分担して、自分の役割を意識してやり遂げる。 □ICT や視覚的な教材を用いてわかりやすく提示する。	
7	学期のまとめ① 長期休業中の過ごし方	2	○家庭での役割（手伝い） ○規則正しい生活と余暇活動 ◆家庭における自分の役割を決め、担う。 ◆休業中の予定や余暇活動について計画を立てたり、希望を出したり、選択したりする。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。	
9 10	宿泊行事について	6	○係活動決め ○振り返り ◆学年集団での活動の中で役割を担い、最後までやり遂げる。 ◆宿泊行事を振り返り、自分自身や友達の頑張りや良かった所を共有する。 □興味ひきやすい教材や視覚的の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすいように配慮する。	
11	周りの人の役立つことをしよう	6	○交流会等の準備・飾りつけ・買い物学習 ◆小集団での役割を分担して、友達と協力して活動に取り組む。 ◆集団での活動を通して、自分の頑張りや友達の良さに気づき、認め合う。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。	
12	学期のまとめ② 長期休業中の過ごし方	2	○家庭での役割（手伝い） ○規則正しい生活と余暇活動 ◆家庭における自分の役割を決め、担う。 ◆休業中の予定や余暇活動について計画を立てたり、希望を出したり、選択したりする。 □ICT や視覚的な教材を用いてわかりやすく提示する。	

1 2	絆を深めよ う	6	<p>○集団活動（レクリエーション、ゲーム）</p> <p>○交流会</p> <p>◆小集団の中で友達を意識してレクリエーションやゲーム活動をする。</p> <p>◆自治活動など、先輩方からやり方を教わり、他者とかかわり合いながら活動に取り組む。</p> <p>□ルールを可視化し、わかりやすい環境をつくって行う。</p>	
3	一年間のま とめ	3	<p>○1年間の振り返り</p> <p>○まとめの会</p> <p>○3学年に向けての見通しや目標</p> <p>◆2学年での出来事を振り返り、3学年に進級する意識や目標をもつ。</p> <p>□ICTや視覚的な教材を用いてわかりやすく提示する。</p>	
通 年	余暇の充実 に向けて		<p>○選択して余暇の充実をはかる。</p> <p>○娯楽活動の施行と実践</p> <p>◆カラオケ、DVD鑑賞などより選択し、余暇活動の充実を図る。</p> <p>□ICTや視覚的な教材を用いてわかりやすく提示する。</p> <p>□適切なグループ編成を行い、学習を行う。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	日常生活の指導	グループ名	3、4、5、6、7、8組	
ねらい	(1) 個々の実態に応じ、卒業後の生活や社会参加を目標に基本的な生活習慣の定着を図る。 (2) 一日の学校生活への見通しをもち、主体的に行動する力を養う。 (3) 集団の中で自分の役割を果たし、他者と協力して行動する力を育てる。			
担当教員	○吉崎智成 守山大介 宗重貞子 森大和 浅井瞭 中里麻実子 藤田大輔 加藤彩花			
年間授業時数	224 単位時間			
使用教科書	いきるって どんなこと？			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5	新しい学級に慣れよう ～友達を意識しよう～ ～係活動に取り組みよう～	40	□年間を通し、各生徒の実態に応じてねらいを達成するため、言葉かけや環境設定を行う。また、複数の教員で統一した指導を行う。 ○学級の友達を意識して行動する ○友達の歩くペースに合わせて歩く ◆学級の友達と列になり、並んで移動することができる。 ◆友達の歩調を意識しながら、同じくらいの速さで歩くことができる。 ○自分の役割を果たす ◆自分達で係活動を決め、選択することができる。 ◆自分の係活動を最後まで行うことができる。	※左記学習内容を主にを行い、その他内容も必要に応じて指導する。
5 6	ルールやマナーを守ろうⅠ ～身だしなみを整えよう～ ～清潔に過ごそう～	40	○鏡を見て、身だしなみを整える ◆鏡を見てヘアスタイルを整えたり、ボタンが留めてあるか、シャツがズボンに入っているかを確認したりする。 ○清潔感への意識付け ◆給食の前に石鹸で指の間まできれいに手洗いができる。 ◆ハンカチやポケットティッシュを携帯することができる。	
7 9	ルールやマナーを守ろうⅡ ～活動の準備・片付けをしよう～	54	○使ったものを片付ける ○活動場所をきれいにする ◆次の活動の持ち物や服装を準備することができる。 ◆明日の持ち物を自分で用意することができる。 ◆自分の使ったものを元の場所に返却することができる。	
10 11 12	ルールやマナーを守ろうⅢ ～時間や順番を守ろう～	30	○時間を意識して行動すること ○自分の順番や活動の順番を理解して行動すること ◆タイマーや時計を見て、活動にとりかかったり、終わったりすることができる。 ◆提示された順番を守って行動することがで	

			きる。	
1 2	自分のこ とは自分 でやろう	40	<ul style="list-style-type: none"> ○使ったものを片付けること ○自分の役割を果たすこと ◆自分の使ったものを元の場所に返却することができる。 ◆自分の係活動や役割を最後まで行うことができる。 	
2 3	いろいろ な人とか かわろう	20	<ul style="list-style-type: none"> ○他者を意識して行動すること ○場面や相手に応じた話し方 ◆他者に配慮したかかわりができる。 ◆場面や相手に応じた言葉遣いや態度で他者と関わるることができる。 	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	生活単元学習	グループ名	学年	
ねらい	(1) 単元の中の様々な活動を通して、生活力の向上を目指す。 (2) 体験を通して、共に学び合い、支え合う力を付ける。 (3) 体験を通して、「考える力」「伝え合う力」「協力する力」を伸ばす。			
担当教員	○森大和			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	こくご☆☆☆、にっぽんちず絵本、ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③(6～9までのたし算、ひき算、位取り)、みるずかん・かんじるずかん たねのずかん、おんがく☆☆☆、わたしだけのほらぺこあおむし むりえ絵本、子供の生活⑥ じょうぶなからだになれるよ!、職業・家庭 楽しい職業科 わたしたちの夢につながる、絵本 ABC			
月	単元名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	進級を祝おう	2	○進級について知ろう ◆進級したことで変わったことを知る。 ○2年生の目標を決めよう ◆2年生の個人の目標を決める。 □シンボルカードやマカトンサインを使って、実態に合った教材を準備する。	他教科との関連性 国語 社会
5 6	体育授業見学会を成功させよう 校外学習を成功させよう	6	○エンブレム作りをしよう ◆羽村市には、どのような社会資源があるのかを調べる。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。 ○多摩六都科学館について知ろう ◆多摩六都科学館を知り、校外学習の見通しをもつ。 ◆活動内容を確認して、施設での過ごし方を知る。 □興味の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすいように配慮する。	体育
7	外国について考えよう。	4	○外国に関心を向けてみよう ◆外国語の文化や言語について調べてみよう。 □興味の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすいように配慮する。	外国語 国語
9	季節の行事を楽しもう。	2	○季節や行事に関心を向けよう ◆友達と協力して、内容を考えたりする。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。	理科 社会
10 11	文化祭を成功させよう	7	○舞台発表を知ろう ◆舞台発表の内容を知り、やりたい活動を選択したり、役割分担を話し合ったりする。 □役割をもたせ、意欲的に活動に参加できるようにする。 ○みんなで舞台発表を成功させよう ◆友達と一緒に、文化祭に必要な道具や衣装等を考え、作り、準備する。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。	国語 社会 理科 美術
12	外国について考えよう。	1	○外国に関心を向けてみよう ◆外国語の文化や言語について調べる。	外国語

			<input type="checkbox"/> 興味のひきやすい教材や視覚的の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすいように配慮する。	国語
1 2	移動教室を成功させよう	6	<input type="checkbox"/> 移動教室に行こう ◆ 移動教室の行先や内容について知り、友達と一緒に移動教室に関連する事柄を調べる。(地理、産業、気候など) <input type="checkbox"/> 学習グループを分け、協力して活動できるようにする。 <input type="checkbox"/> 調べたことを発表しよう ◆ 相手を意識し発表する、聞く。 <input type="checkbox"/> 事前に発表内容ワークシートにまとめる。 <input type="checkbox"/> 移動教室を成功させよう ◆ 自分の役割を理解して係活動に取り組み、主体的に移動教室に参加する。 <input type="checkbox"/> 学習グループを分け、協力して活動できるようにする。 <input type="checkbox"/> 視覚的教材や ICT 機器を用いて、見通しをもって活動することができるように配慮する。	国語 社会
3	1 年を振り返ろう	2	<input type="checkbox"/> 1 年間の行事や取り組んできた内容を振り返る活動 ◆ 自他を理解して役割を決め、責任をもって取り組む。 ◆ 友達と協力しながら、活動に取り組む。 <input type="checkbox"/> ICT 教材を用いて、1 年間の学習を視覚的に振り返ることができるように配慮する。	国語 社会
通年	危険から身を守れるようにしよう。 ① 交通事故から身を守ろう。 ② 犯罪から身を守ろう。 ③ 災害から身を守ろう	5	<input type="checkbox"/> 交通安全教室 ◆ 交通ルールを理解し、安全な行動ができるようにする。 <input type="checkbox"/> ICT 機器を活用して交通ルールを視覚的に示す。 <input type="checkbox"/> セーフティ教室 ◆ 犯罪や危険について理解し、自分を守る行動ができるようにする。 <input type="checkbox"/> ICT 機器を活用し、視覚支援を行い、分かりやすくする。 <input type="checkbox"/> 総合防災訓練 ◆ 災害を想定した訓練を行い、防災に対する知識を持ち、自分を守る行動ができるようにする。 <input type="checkbox"/> 地震の場面で身を守る姿勢や方法を実際に行い身に付ける。	社会
	さまざまな施設を利用しよう	通年	<input type="checkbox"/> マナーを守り、公共施設や商業施設を利用する実践的活動。 ◆ 地域の公共施設や文化施設、商業施設等を利用し、いろいろな体験をする。 ◆ 予算内で計画を立てて商品を選んで買い物をする。量を考えて買い物をし、分配する。 <input type="checkbox"/> 興味のひきやすい教材や視覚的の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすいように配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	生活単元学習	グループ名	3・4・5・6・7・8組	
ねらい	(1) 友達を意識して、学習に取り組む姿勢を身に付ける。 (2) 自分の役割への意識を高め、主体的に活動する。 (3) 自然や季節への関心をもち、自然の事物・現象について初歩的理解を図る。			
担当教員	○中丸昌和 吉崎智成			
年間授業時数	35 単位時間			
使用教科書	こくご☆☆☆、にっぽんちず絵本、ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③(6～9までのたし算、ひき算、位取り)、みるずかん・かんじるずかん たねのずかん、おんがく☆☆☆、わたしだけのはらぺこあおむし むりえ絵本、職業・家庭 楽しい職業科 わたしたちの夢につながる、絵本 ABC			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫 備考	
4	進級や新入生を祝おう	3	○1日の予定や1年の行事予定、学校のきまりなどを知る活動 ◆日課や学校行事について理解する。 ◆特別教室など活動場所を覚える。 ◆自分の役割や責任について考える。 □絵カードやシンボルカードを用い、進んで学習することができるように配慮する。	国語 社会
5	体育発表会を成功させよう	3	○日程や活動内容を知り、自分の役割や移動方法、荷物、公共のルールやマナーなどを調べる活動 ◆日程、活動内容、順序等を知る。 ◆自分の目標を決めて、主体的に活動に取り組む。 ◆行事に見通しをもち、成功させようという気持ちをもつ。 □前年度の写真や当日のプログラムなどを用いて、活動を想起しやすくする。 □練習を通して、生徒が力を入れたいと思っていることを一緒に考え、目標を決められるようにする。 ○エンブレムの制作活動 ◆友達と協力して制作活動に取り組む。 □ICT機器を使用して、楽しみながら学習できるようにする。	体育 美術
6	校外学習を成功させよう	3	○日程や活動内容を知り、自分の役割や移動方法、荷物、公共のルールやマナーなどを調べる活動 ◆日程、活動内容、順序等を知る。 ◆自分の目標を決めて、主体的に活動に取り組む。 ◆行事に見通しをもち、成功させようという気持ちをもつ。 □日程表や活動場所の写真、活動内容のイラストなどを用いて、活動を想起しやすくする。 □ICT機器を使用して活動する施設や場所についての事前学習を行い、見通しをもって活動できるようにする。 □事前学習を通して、生徒が力を入れたいと思っていることを一緒に考え、目標を決められるようにする。	社会

7	外国について考えよう。	2	○外国について関心を向けてみよう。 ◆外国の文化や自然などの関心を持ち、興味をもったことや分かったことを伝える。 □興味のひきやすい教材や視覚的の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすい配慮する。	外国語 国語
9	季節の行事を楽しもう。	3	○季節や行事に関心を向けよう ◆友達と協力して内容を考える。 □学習グループを分け、協力して活動できるようにする。	理科 社会
10 11	文化祭を成功させよう	5	○日程、活動内容、役割を知る実践的活動 ○発表の練習や必要な道具などの準備をする活動 ◆活動内容について理解し、自分の目標を立てる。 ◆友達と協力して行事を成功させる意識をもち、自分の役割に責任をもって最後まで取り組む。 □学習グループを分け、実態に合った活動ができるように配慮する。	国語 理科 社会 美術
12	外国について考えよう。②	4	○外国について関心を向けてみよう ◆外国の文化や自然などの関心を持ち、興味をもったことや分かったことを伝える。 □興味のひきやすい教材や視覚的の手がかりの多い教材を用い、主体的に学習しやすい配慮する。	外国語 国語
1 2	移動教室を成功させよう	9	○日程や活動内容を知り、移動方法、荷物、公共のルールやマナーなどを調べる実践的活動 ○自分の役割を考え、目標を決める ○予報で天気の種類や気温の変化を調べる活動 ◆行事に見通しをもち、成功させようとする気持ちを高める。 ◆自分の目標を明確にし、役割を果たす姿勢を身に付ける。 ◆天候についての知識を蓄え、その日の天気や気温にふさわしい服装を考える習慣を養う。 □視覚的の手がかりの多い教材教具を用いて、見通しをもって活動できるように配慮する。	国語 社会
3	1年間を振り返ろう	3	○画像や映像で1年間を振り返る ○1年間の感想や反省を発表する ◆友達と協力して成功できた体験を思い出し、今後の自信につなげる。 ◆進級して3年生になることを理解する。 □ICT機器を用いて、1年間の学習活動の視覚的に振り返ることができるように配慮する。	国語 社会
通年	危険から身を守れるようにしよう。	通年	○交通安全教室 ◆交通ルールを理解し、安全な行動ができるようにする。 □映像や写真、イラストを使い具体的な場面を取り扱う。 □校外学習など校外で活動する場面で学習を行う。 ○セーフティ教室 ◆犯罪や危険について理解し、自分を守る行動ができるようにする。 □イラストやロールプレイなどを活用し、場面を想起しながら学習する。	社会

		<ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 声を出したり道具を操作したりして、体験的に学習する。<input type="checkbox"/> 総合防災訓練<input checked="" type="checkbox"/> 災害を想定した訓練を行い、防災に対する知識を持ち、自分を守る行動ができるようにする。<input type="checkbox"/> 予定表を使い、見通しをもって訓練ができるようにする。	
--	--	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	中学部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習	グループ名	3・4・5・6・7・8組	
ねらい	(1)自信をもって取り組み、働くことの楽しさを知る。 (2)自分の役割（作業）に責任をもって、一定時間持続して取り組む。 (3)教員や友達に対して、挨拶・返事・報告・相談を行うことができる。			
担当教員	○守山大介 藤田大輔			
年間授業時数	105 単位時間			
使用教科書				
月	題材名	時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4	作業班について知ろう	9	○各作業班の活動内容について知る。 ○作業工程や手順を見学・体験する ○挨拶・返事、報告、相談の仕方を知る ◆自分の所属班について1年間の活動予定や作業内容について知ることができる。 ◆所属班の作業工程や手順が分かる。 ◆入退室時の手順が分かる。 □ICT機器等を活用し、視覚的に提示する。 □実際に作業をしている映像を見るなどして、作業手順を視覚的に示す。 □教員が手本を見せたり、掲示物等で示したりする。	
5 6 7 9	役割を分担して作業に取り組もう	42	○自分の役割を知る ○挨拶・返事、報告、相談を行う ○集中力を持続させて作業する ◆自分の役割の内容や手順を知り、見通しをもって取り組むことができる。 ◆適切な挨拶や返事ができる。仕事が終わった時や困った時に、カードや言葉等で教師に伝えることができる。 ◆一定時間や一定量の作業に取り組むことができる。 □作業工程を明確にし、イメージをもちやすくする。 □挨拶や報告をするタイミングを事前に伝え、自分からできるようにする。 □作業量や作業時間を視覚的に示す。	
10 11 12	文化祭販売会の準備・運営をしよう	21	○文化祭での作業製品販売会について知る ○販売会用の看板やポスター等を作成する ◆販売会の日時や流れを知ることができる。 ◆販売会用の看板やポスター等を班の友達と協力して作成することができる。 ◆販売会での活動の様子や売り上げを写真や数量で振り返ることができる。 □役割分担をし、事前にロールプレイ等でやりとりを練習する。 □ICT機器等を活用し、視覚的に提示する。 □実態に応じて、役割分担を行い、最小限の補助で取り組めるようにする。 □売れた個数等を視覚的に示すことでイメージをもちやすくする。	

12 1	新たな役割を担って、作業に取り組もう	18	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな自分の役割を知る ○挨拶・返事、報告、相談を行う ○集中力を持続させて作業する ◆新たな作業内容を知り、意欲的に取り組むことができる。 ◆適切な挨拶や返事ができる。仕事が終わった時や困った時に、カードや言葉等で教師に伝えることができる。 ◆一定時間や一定量の作業に取り組むことができる。 □挨拶や報告をするタイミングを事前に伝え、自分からできるようにする。 □作業量や作業時間を視覚的に示す。 □実態に応じて、他の生徒が取り組んでいた作業に取り組む等、見通しをもてるようにする。 	
2 3	1年間の活動のまとめと次年度に向けて	15	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度の作業紹介に向けた準備をする ○作業室の清掃・整理整頓を行う ○1年間のまとめを行う ◆新しく作業学習に加わる後輩に向けて、作業内容や製品について伝えるための準備をすることができる。 ◆使用した作業室を清掃したり、整理整頓したりすることができる。 ◆1年間の活動を振り返り、頑張ったことやできるようになったことなどを発表することができる。 □成果物を示し、1年間の作業を振り返ることができるようにする。 □作業日誌等を用いて、自身の年間の作業内容を振り返られるようにする。 □道具や材料の置き場所を分かりやすくし、整理整頓しやすくする。 	